

ネアカヨシヤンマ

Aeschnophlebia anisoptera

兵庫県：B

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

腹長48～56mm、後翅長46～54mm程度。黒褐色の体に黄緑色の斑紋を有する。翅の付け根付近に橙色部がある。平地から丘陵地のカンガレイ、ヨシ、ガマなどが繁茂する湿地や池沼などに生息し、幼虫は水深の浅い場所に多く見られる。産卵は水のない湿土や朽ち木に行われる。成虫は5月～9月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、豊岡市、加古川市、赤穂市、高砂市、小野市、淡路市、加東市、たつの市、新温泉町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○	○	○		○

特記事項

もともと生息場所・個体数ともに少ない種である。樹林に囲まれ、夏季に水が引いて底が現れるような湿地に産卵する。現在知られている産卵場所は公園敷地内にある。それらの生息場所を崩壊させないようにする必要がある。ただし他の場所で黄昏時に飛ぶ姿が見られたという報告があり、未知の生息場所も残されている。

保護上の留意点

生息する池や湿地では、夏季に底の一部が露出するような水位管理を行うこと。